

生理学用语集

生理学用語集

日本生理学会 編

医学書院

生理学用語集

1972年8月1日 第1版1刷 ©

編 者	日 本 生 理 学 会
発 行 者	株式会社 医 学 書 院
	取締役社長 金 原 一 郎
本 社	東京都文京区本郷5-29-11 (電) 811-1101 郵便東京 96893
大阪出張所	大阪府北区梅田町46 新橋第一ビル (電) 345-5830
九州出張所	福岡市博多区大学道1-1 (電) 64-0945

まえがき

それぞれの人間集団が、その集団に固有な言語をもっているのは、集団構成員の心の交流を計り、集団の秩序を維持するためであって、ここに、人間にとっての言語の役割とその重要性がある。

このことは、生理学研究者の集団においても同じであって、生理学に関するいろいろな現象や思想を記載、表現するために編みだされた共通の言語が生理学用語である。そして、いろいろな国語があるように、国によって、同じ生理学的な現象や思想を記載、表現するのに、それぞれ違う国語による生理学用語が使われているために、国際的交流を計るには、違った国語による生理学用語の対応を明確にしておかねばならない。ここに、それぞれの国語による生理学用語の統一と、明確な対応関係の設定が強く要請されるのである。

これまでわれわれが使用してきた生理学用語は、1960年5月に南山堂から発行された日本生理学会編の英独対照の『生理学用語集』であって、数年にわたる戸塚武彦先生のご努力によって完成したものである。ところが残念なことに、その後この用語集は絶版になり、また、新しい用語もかなり加わってきたので、第43回日本生理学会総会（1966年、松本市で開催）で、学問の発達に即した新しい生理学用語集を作るための委員会を発足させることがきまり、私とその委員長に選ばれたのである。

その頃、日本医学会において、医学用語全体を整理しようとする作業が進められていたので、それと歩調をあわせて委員会活動を始めるつもりでいた。ところが、日本医学会における作業が遅々として進まないのので、ついに1968年4月に、日本生理学会独自で生理学用語を決定することにし、下記の11名の方々に委員になっていただいて用語の検討を始め、さらに最終的な調整は、印をつけた方々による小委員会によって精力的に行なわれた。

この用語集は、上述した要請に応じるために、外国の用語の日本語訳ではなく、日本語としての生理学用語を統一したものであり、それに対して、どのような外国語の用語が対応しているかを示したものである。対応する外国語としては、英語と独語に限った。さらに、用語の意味を明確にするために、必要に応じて、簡明な説明をつけた。

これらの作業は、まさに「言うは易しく、行なうは難し」であって、委員の方

2 ま え が き

方はいちに及ばず、とくに小委員会の方々や、生理学会評議員の方々に無償のなみなみならぬご尽力とご協力をしていただいたことに対して、委員長として心からお礼を申しあげるしだいである。また、独語については、牧之瀬望教授（ハイデルベルク・マクスプランク医学研究所生理学部門）と高野光司教授（ゲッティンゲン大学医学部生理学教室）から大変なご協力をいただいたのであわせてお礼を申しあげたい。なお、作業の過程や発行について、多大のご配慮をいただいた医学書院に対して感謝の意を表したい。

委員会としては、できるだけの努力をしたつもりであるが、不完全であることはまぬかれない。ご教示をいただいてよりよいものにしてゆきたいと願っている。

ともあれ、委員会の責任において、一応よりどころになる生理学用語集として公表させていただき、十分に活用していただければこのうえない幸いである。

1972年7月

日本生理学会用語委員長 時実 利彦
委員(ABC順) 福田 篤郎 福原 武
。星 猛 。市岡 正道 。真島 英信
松田幸次郎 斎藤幸一郎 。島津 浩
高木健太郎 問田 直幹 内蘭 耕二

凡 例

1. 用語は日本語で表わすのを原則とし、見出しは日・英・独語の順に掲載した。
見出しの日本語はカタカナで表記し、英語の綴りは米式を採用した。独語に該当する語がないときは空欄とした。なお、見出しの英・独語には同義語や略語も併記した。
2. 外国人名などの固有名詞は原則として、その国の発音に近いと思われるように表記したが、日本における慣用の発音で表記したものもある。
3. 英・独語はセミコロン(;)で区分し、独語が英語に同じ場合は、独語にクォーテーション(“ ”)を付した。
4. ラテン語はイタリック体を用いた。
5. 日常頻用される一般用語、形容詞、形態学用語、質・量を表わす言葉は、とくに重要と思われるもののみを掲載した。
6. 見出し語(カタカナ)の配列は五十音順とし、次の規則に従った。
 ① 清音、濁音、半濁音の順とする。
 ② 促音、拗音(っ、ゃ、ゅ、ょ)は、それぞれ(つ、や、ゆ、よ)と同じに扱う。
 ③ 長音符号(ー)をもった用語は、その符号がないものとして配列する。
7. [] は「あるいは」という意味を表わし、() は省略可能を意味する。
 例: α [alpha] rhythm Rot(farben)schwäche
8. 同列の日本語をつなぐ場合は中黒(・)を用いた。
9. 外国人名で2名以上をつなぐ場合はゴシックハイフン(◌)を用い、同一人物は二重ハイフン(=)を用いた。
 例: Weber-Fechner Brown=Séguard
10. 用語のうち必要と思われる項目には、簡潔な解説をつけ、事典としての需用にも応じられるように配慮した。
11. 同義語のうち、本書に掲載されているものは「…に同じ。」として参照すべき用語を示したが、本書に掲載されていないものは「…ともいう。」と記するにとどめた。
12. 慣用されている接頭・接尾語を巻末に一括して掲載した。
13. 英・日索引を巻末に付し、利用の便をはかった。

ア

アイエススパイク IS スパイク IS [initial segment] spike; IS-Spitze

神経細胞の複合スパイクのうち軸索起始部に由来するもの。

アイタイ 1 帯 1 band; I-Fach, I-Band, I-Abchnitt

横紋筋の横縞のうち明るくて複屈折性の弱い部分。

等方帯に同じ。

アイントーベンノサンカクケイ アイントーベンの三角形 Einthoven's triangle; Einthovensches Dreieck

心電図標準導出の導出点は正三角形の頂点に、心起電力はその中心にあるとみる仮説。

アエギ あえぎ gasping; Schnaufen

ごく短い吸息相と呼息相が長い周期で起こること。

アオシキモウ 青色盲 acyano(ble)psia, blue-blindness; Blaublindheit

アカクラミ 赤くらみ red-out; Rotschwindel

足から頭へ加速度をかけたときに起こる視野赤変と意識障害。

アカシキジャク 赤色弱 red anomaly [weakness]; Rot(farben)schwäche, Rotanomalie

赤色盲の程度の軽いもの。

アカシキモウ 赤色盲 red blindness, anerythro(ble)psia; Rotblindheit

アカミドリシカクブッシュ 赤緑視覚物質 red green visual substance; Rotgrünsehstoff

ヘーリングの反対色説で赤と緑の感覚を作る物質。

アカミドリシキモウ 赤緑色盲 red-green

blindness, anerythrochloropsia, xanthocyanopsia; Rotgrünblindheit, Anerythrochlorop(s)ie, Xanthocyanop(s)ie

二色性色覚。赤色盲と緑色盲に区別。

アカルサ 明るさ brightness, luminosity; Helligkeit

色覚の三属性の一つ。刺激光の強度に関係する。

アカルサカンド 明るさ感度 luminosity sensitivity; spektrale Hellemphindlichkeit

等しい光束に対する明るさの感受性。

アカルサキョクセン 明るさ曲線 luminosity curve; Helligkeitskurve

種々の波長の光に対する明るさ感度を表わす曲線。

アカルサノタイヒ 明るさの対比 brightness contrast; Helligkeitskontrast

対象とその周辺が互いに明暗の差を強めあうこと。

アキレスケンハンシャ アキレス腱反射 ankle jerk; Achillessehnenreflex

アキレス腱を叩いて起こる腱反射で、下腿三頭筋の伸張反射。

アクセイヒンケツ 悪性貧血 pernicious anemia; perniciose Anämie

胃液の内因子の欠如によって起こる貧血症。

アクトミオシン actomyosin; Aktomyosin, Actomyosin

アクリョク 握力 grip strength; Handkraft

手指の屈筋群が協力筋として働く総合筋力。

アゴハンシャ あご反射 jaw jerk; Kieferreflex

閉口筋の筋伸張反射で、閉口筋の急激な伸展による閉口反射。

アジシメンタイ 味四面体 taste tetrahedron; Geschmackstetraeder

四つの基の味を頂点に配置した四面体。

アジソンビヨウ アジソン病 Addison's disease; Addison'sche Krankheit

副腎の結核性病変による副腎機能不全症。

アジタイヒ 味対比 taste contrast; Geschmackskontrast

2種の溶液を同時、またはあいついで舌に与えたとき、一方または両方の液の味の強さが増すこと。

アシドーシス acidosis; Azidose

細胞外液の pH を低下せしめるような要因の存在する状態。

アジブッシツ 味物質 taste [sapid] substance; Schmecksubstanz

アシブミハンシャ 足踏み反射 stepping reflex; Schrittreflex

脊髄動物にみられる歩行様運動をする反射。

アシネルノテスト アシュネルのテスト Aschner's test; Aschnerscher Versuch

眼球圧迫による徐脈反射試験。

アセチルコリン acetylcholine, ACh; Acetylcholin, ACh

アーチファクト artefact, artifact; Artefakt

操作中に混入した人工的の産物または現象。

アッカク 圧覚 pressure sensation; Druckenpfundung

アツジュヨウキ 圧受容器 baro(re)-ceptor, p. essoreceptor; Druckrezeptor, Pressorezeptor, Barorezeptor

圧変化、主として血圧変化を感じる受容器。

アッテン 圧点 pressure spot; Druckpunkt

圧刺激を感じる感覚点。

アツミヤクハク 圧脈拍 pressure pulse; Druckpuls

圧変化としての脈拍。

アツリョクタイセキカンケイ 圧力体積関係 pressure-volume relation; Druck-Volumen-Verhältnis

内腔臓器で内圧と容積の比からその臓器壁の弾性に関した性質を表わすもの。

アテトーシス athetosis; Athetose

比較的経過が遅い不規則な不随意的異常運動。

アドレナリン adrenaline, epinephrine; Adrenalin

カテコラミンの一種で副腎髓質ホルモン。

アドレナリン(サドウ)セイシンケイ

アドレナリン(作動)性神経 adrenergic nerve; adrenergischer Nerv

末端からアドレナリンを遊離する神経線維。

アドレノステロン adrenosterone;

Adrenosteron

副腎皮質から分泌される男性ホルモン。 $C_{19}H_{24}O_3$ 。

アノマロスコープ anomaloscope;

Anomaloskop

色覚の異常を検査する器械。

アポクリンセン アポクリン腺 apocrine gland; apokrine Drüse

ヒトの腋窩、陰部など発毛部にある性に関係する汗腺。

アマイアジ 甘い味 sweetness; Süße

アミノサンニョウ アミノ酸尿 amino aciduria; Aminoazidurie

アミノ酸が排泄されて含まれている尿。

アミノペプチダーゼ aminopeptidase; Aminopeptidase

遊離アミノ基を有するアミノ酸のペプ

ナド鎖を分解する酵素。
アミロプシン amylopsin; Amylopsin
 唾液中のデンプン水解酵素。
アメーバヨウウンドウ アメーバ様運動
 amoeboid movement; amoeboide
 Bewegung
アールエッチシキケツエキガタ Rh 式
 血液型 Rh [Rhesus] blood group;
 Rh-Blutgruppe
 赤血球の Rh 因子の有無できまる血液
 型。
アルカリセイケツショウ アルカリ性血
 症 alkalemia; Alkalämie
 血液の pH が異常に高い状態。
アルカリヨビ アルカリ予備 alkali
 reserve. reserve alkali; Alkalire-
 serve
 血液や血漿の炭酸水素イオン(俗に重
 炭酸イオン)。
アルカロース alkalosis; Alkalose
 細胞外液の pH を高めるような要因の
 存在する状態。
アルギニンバゾプレシン arginine-
 vasopressin; Arginin-Vasopressin
 プタ、カバ以外の哺乳類の抗利尿ホル
 モン。
アルテレノール arterenol; Arterenol
 ノルアドレナリンの別名。
アルドステロン aldosterone; Aldo-
 steron
 副腎皮質が分泌する電解質コルチコイ
 ド。
アルファアミラーゼ α [alpha] amyla-
 se; α -[Alpha-] Amylase
 デンプン分子の内部のグルコシド結合を
 加水分解する酵素。
アルファウンドウセンイ アルファ運動
 線維 α [alpha] fiber; α -[Alpha-]
 Faser
 筋収縮に役立つ多数の骨格筋錘外筋線
 維を支配する比較的太い運動神経線維。

アルファウンドウニューロン アルファ
 運動ニューロン α [alpha] motoneu-
 ron; α -[Alpha-] Motoneuron
 錘外筋線維を支配する大型の脊髄運動
 神経細胞。
アルファコシュク アルファ固縮
 α [alpha] rigidity; α -[Alpha-]
 Rigidity
 ガンマ系を介さず直接の中樞性影響で
 起こる固縮。
アルファサイボウ アルファ細胞
 α [alpha] cell; α -[Alpha-] Zelle
 膵ランゲルハンス島や下垂体前葉の分
 泌細胞の一種。
アルファハ アルファ波 α [alpha]
 wave; α -[Alpha-] Welle
 1/13~1/8秒の持続時間の脳波の波。
アルファリズム α [alpha] rhythm;
 α -[Alpha-] Rhythmus
 8~13/秒の頻度で後頭部によくでる脳
 波のリズム。
アロキサントウニョウ アロキサン糖尿
 alloxan diabetes; Alloxandibabetes
 アロキサン投与により膵ランゲルハ
 ス島が障害されて起こる糖尿。
アンギオテンシンイチ アンギオテンシ
 ン I angiotensin I; Angiotensin I
 レニンが α_2 -グロブリンに作用してで
 きるデカペプチド。
アンギオテンシンニ アンギオテンシン
 II angiotensin II, hypertensin, angio-
 tonin; Angiotensin II, Hypertensin,
 Angiotonin
 アルドステロン分泌刺激、昇圧作用を
 もつオクタペプチド。ただし, hyper-
 tensin, angiotonin は歴史的呼称。
アンジュノウ 暗順応 dark adapta-
 tion; Dunkeladaptation
 網膜が暗がりて光に対する感受性を増
 す反応。
アンショシ 暗所視 dim-light

[scotopic twilight] vision, scotopia;
Dunkelsehen, Dämmerungssehen,
scotopisches Sehen

暗いところで物を見る場合の視覚。

アンセイコソクレベル 安静呼吸レベル
resting expiratory level; ruhiges
Atmungsniveau

安静呼吸を行なったときの呼吸曲線の
レベル。

基準位ともいう。

アンセイジダエキ 安静時唾液 resting
saliva

はっきりした刺激なしで分泌される唾
液。

アンゼンリツ 安全率 safety factor;
Sicherheitsfaktor

インパルスの伝導または伝達の効率を
表現する係数。

アンテン 暗点 scotoma; Skotom
視覚経路の障害のため視野内で物のみ
えない部分。

アンドロゲン androgen; Androgen
雄の第二次性徴を調節する男性ホルモ
ン。

アンドロステロン androsterone;
Androsteron
テストステロンの尿中代謝産物の一つ。

イ

イエキ 胃液 gastric juice; Magensaft
イエキケツボウ(ショウ) 胃液欠乏(症)
gastric achylia; gastrische Achylie

胃粘膜退化による胃液分泌の欠乏。

イエキブンビ(ツ) 胃液分泌 gastric
secretion; Magensaftsekretion

イオンキョウド イオン強度 ionic
strength; Ionenstärke

電解質溶液中の i 種イオンの濃度を
 v_i , 価数を z_i としたとき $1/2 \sum v_i z_i^2$ で
与えられる値。

イオンコウカン イオン交換 ionic
exchange; Ionenaustausch

溶液中のイオンが細胞または物質に取
り込まれ、代りに他種イオンが溶液中
にでる現象。

イオンセツ イオン説 ionic theory;
Ionentheorie

神経、筋の電位発生を、細胞膜のイオ
ン透過性の変化により起こるイオン電
流によって説明する説。

イオンデンリョウ イオン電流 ionic

current; Ionenstrom

特定のイオンが運ぶ電流のこと。ナト
リウム電流、カリウム電流など、イオ
ンの移動によって起こる電流。

イカ 異化 catabolism, dissimulation;
Katabolismus, Dissimilation

イカリハンノウ 怒り反応 rage reac-
tion; Wutreaktion

実験的に誘発された怒りの行動。

イキ 閾 threshold; Schwelle
しきい(閾)に同じ。

イキカエン 閾下線 subliminal
fringe; unterschwelliger Erregungs-
saum

閾下の興奮をしている神経細胞群の広
がり。

イキカ(ノ) 閾下(の) subthreshold,
subliminal; unterschwellig

イキギレ いきぎれ breathlessness;
Atemlosigkeit

イキコラエ いきこらえ breath hold-
ing; willkürliche Apnoe

イキコラエゲンカイテン 息こらえ限界点 breaking point; Atemanhaltzeitpunkt

これ以上息こらえが続けられない状態。またはそのときの肺胞内の P_{CO_2} 。

イキコラエジカン 息こらえ時間 breath holding time; Atemanhaltzeit 呼吸を任意の相で随意にとめられる最大時間。

イキシゲキ 閾刺激 threshold stimulus; Schwellenreiz

しきいの強さをもった刺激。

イキショウシゲキ 閾上刺激 supra-threshold stimulus; überschwelliger Reiz

閾値以上の強度の刺激。

イキショウ(ノ) 閾上(の) suprathreshold, supraliminal; überschwellig

イキチ 閾値 threshold value; Schwellenwert

閾刺激の強さ。

イキ(マク)デンイ 閾(膜)電位 threshold membrane potential; Schwellenmembranpotential

興奮性膜を脱分極させたときに活動電位を発生する臨界電位。

イキミ いきみ abdominal muscle pressure; Bauchpresse

イキンデンズ 胃筋電図 electrogastrogram; Elektrogastrogramm 上腹部皮膚上から導出される胃筋の活動電位。

イシキ 意識 consciousness; Bewusstsein

イシツブンビ(ツ)セン 異質分泌腺 heterocrine gland; heterokrine Drüse 混合腺と同じ。

イジネツ 維持熱 maintenance heat; Erhaltungswärme

短縮が維持されているあいだ発生する一定量の熱。

イシュイショク 異種移植 heterotransplantation; Heterotransplantation 種の異なる動物間に行なわれる移植。

イシュク 萎縮 atrophy; Atrophie, Schwund

イジョウクウフク 異常空腹 bulimia; Bulimie

イショウチョウハンシャ 胃小腸反射 gastrointestinal reflex; gastro-intestinaler Reflex

胃の伸展により小腸に運動高進あるいは抑制をみる反射。

イジョウヘモグロビン 異常ヘモグロビン abnormal hemoglobin; abnormes Hämoglobin

グロビンの分子構造に異常のあるヘモグロビン。

イショク 移植 transplantation; Transplantation

イショクソツコウ 異色測光 heterochromatic photometry; heterochromatische Photometrie

相異なる色光の明るさを比較する測光方法。

イショセイシテン 異所性始点 ectopic focus; ektopischer Fokus

心臓内で正常の歩調取り以外の自動性興奮発生点。

イショセイハクドウ [シュウシュク] 異所性拍動 [収縮] ectopic [heterotopic] beat [contraction]; ektopischer [heterotoper] Schlag, ektopische [heterotope] Kontraktion

正常の歩調取り以外の部位の自動性による心臓収縮。

イ(セイブンビツ)ソウ 胃(性分泌)相 gastric phase(of gastric secretion); gastrische Phase(der Magensekretion) 胃に加わる刺激によって胃液が分泌される時期。

イソアンドロステロン isoandroste-

rone; Isoandrosteron

精巣および副腎性男性ホルモンの一つ。体温上昇作用あり。テストステロンの尿中代謝産物でもある。

イソウギャクテン 位相逆転 phase reversal; Phasenumkehrung
相接する部位から記録した脳波(とくに徐波)の逆位相のこと。

イソマルターゼ isomaltase; Isomaltase
イソマルトースの α -1,6グルコシド結合を加水分解する酵素。

イダイチョウハンシャ 胃大腸反射 gastrocolic reflex; gastro-colischer Reflex

胃の伸展により大腸運動に高進、ときに抑制をみる反射。

イタミ 痛み pain; Schmerz
痛覚に同じ。

イチエイクンセンイ 1a 群線維 group 1a fiber; Faser der Gruppe 1a
筋紡錘一次終末からの求心性神経線維。
イチエイグンヨクセイ 1a 群抑制 group 1a inhibition; Antagonistenhemmung

1a 群線維のインパルスによる拮抗筋の抑制。

イチカン 位置感 position sensation; Ortssinn Lagesinn
身体部位の位置を感じ判断する感覚ないし能力。

イチジ 一次 primary; primär

イチジキウシンセイセンイダツブンキョク 一次求心性線維脱分極 primary afferent depolarization, PAD; primäre afferente Depolarisation
シナプス前抑制の原因と考えられている求心性線維終末の脱分極。

イチジシュウマツ 一次終末 primary ending; primäre Nervenendigung
らせん形終末に同じ。

イチビーグンセンイ 1b 群線維 group

1b fiber; Faser der Gruppe 1b
腱紡錘からの求心性神経線維。

イチホウコウ(セイ) 一方向(性) unidirectional; unidirektional

イチョウホルモン 胃腸ホルモン gastro-intestinal hormone; gastro-intestinales Hormon

胃腸から放出され、胃液や膵液の分泌、胃、腸、胆嚢の運動を調節するホルモンの総称。

イッカイカンキリョウ 1回換気量 tidal volume; Atemzugvolumen
1回の呼吸によって呼吸器で交換される気体の体積。

イッカイ(シン)ハクシュツリョウ 1回(心)拍出量 stroke volume; Schlagvolumen

心臓が収縮により毎回拍出する血液量。

イッカセアルカリニョウ 一過性アルカリ尿 alkaline tide; Alkaliflut
胃液分泌期に一過性に尿がアルカリ側に傾く現象。

イッサンカタンソヘモグロビン 一酸化炭素ヘモグロビン carboxyhemoglobin; Kohlenoxydhämoglobin
一酸化炭素と可逆的に結合したヘモグロビン。

イツク(セイ) 一側(性) unilateral; unilateral, einseitig

イツダツゲンショウ 逸脱現象 escape phenomenon

① アルドステロンの投与を続けると、しだいに作用が無効となる現象。② 心臓特殊筋系で上位歩調取りの興奮周期が抑制または停止したとき、下位の自動性が発現する現象。

②は支配逸脱現象に同じ。

イツダツシュウシュク[ハクドウ] 逸脱収縮[拍動] escaped beat; Ersatz-systole

心臓において高位自動中枢より興奮が

こない場合、下位自動中枢の働きによって起こる収縮。

心室逸脱(収縮)に同じ。

イッテイヒリツサイキュウシュウ 一定比率再吸収 constant fraction reabsorption

近位尿管で糸球体濾液の一定割合を再吸収すること。

イッテイブブン 一定部分 aliquot
全体の中の一部。

イッポウムキデンタツ 一方向き伝達 transmission of forward direction ; Einbahnübertragung, irreziproke Übertragung

興奮がシナプスを通して神経線維から次の細胞体に伝わるが、逆向きには伝わらないこと。

イデン 遺伝 inheritance, heredity ; Vererbung, Heredität

イデシ 遺伝子 gene ; Gen

イデシカタ 遺伝子型 genotype ; Genotypus

個体の特性を決定する遺伝子の組成とその配列。

イトシンセン 意図振戦 intention tremor ; Intentionstremor

何かある動作をしようとするときに現われる振戦。

イナイヨウハイシュツ 胃内容排出 gastric evacuation [emptying] ; Magenentleerung

胃内容の十二指腸への排出。

イヌリン(ブン)クウカン イヌリン(分布)空間 inulin space ; Inulinraum
体内または組織でイヌリンが均一に分布しうる容積。

イハイシュツジカン 胃排出時間 gastric evacuation time ; Entleerungszeit des Mageninhaltes

胃内容排出に要する時間。

イビキ いびき snore ; Schnarchen

イフィステル 胃フィステル gastric fistula ; Magenfistel

胃内腔と腹壁とのあいだの通路。

イフィステルケイセイ 胃フィステル形成 gastrostomy ; Gastrostomie

イミシツゴショウ 意味失語症 semantic aphasia ; semantische Aphasie

音として言葉はわかるが、その意味がわからないために起こる言語障害。

イメイウンドウニューロン 異名運動ニューロン heteronymous motoneuron ; heteronymes Motoneuron

ある筋の Ia 群線維を受けてそれ以外の筋(協同筋)を支配する運動ニューロン。

イメイキン 異名筋 heteronymous muscle ; heteronymer Muskel

異名運動ニューロンに支配される筋。

イメイ(ノ) 異名(の) heteronymous ; heteronym

イヨウエレクトロニクス 医用エレクトロニクス medical electronics, ME ; medizinische Elektronik

医学、医療に応用される電子工学技術。

イリパーゼ 胃リパーゼ gastric lipase ; Magenlipase

胃液中にある脂肪分解酵素。

イロカンカク 色感覚 color sensation ; Farb(en)empfindung

色を感じる感覚。

イロケイレツ 色系列 chromatic series ; chromatische Reihe

白から単純色に至る視覚的等歩度の色段階。

イロゴマ 色ごま color disc ; Farb(en)-kreisel, Maxwellsche Scheibe

色区分をもつ円板を回転して混色を調べるもの。

イロコングウ 色混合 color mixing ; Farb(en)mischung

異なった色光を混じて他の色光をえる

こと。

イロサンカクケイ 色三角形 color triangle; Farb(en)dreieck

三原色を正三角形の頂点におく色の表現方式。

イロシヤ 色視野 color field; Farb(en)-gesichtsfeld

対象物が着色している場合の視野。

イロシュウサ 色収差 chromatic aberration; Farb(en)fehler

イロナシクカン 色なし区間 achromatic interval; achromatisches Intervall
色光により光覚のみで色覚のないスペクトルの区間。

イロナシケイレツ 色なし系列 achromatic series; achromatische Reihe
白から黒に至る視覚的等歩度の灰色段階。

無彩色系列に同じ。

イロノタイヒ 色の対比 color contrast; Farb(en)kontrast

一つの色が隣接部の色または後続する色を初めり色の補色に近づける傾向。

イロノユウドウ 色の誘導 color induction; Farb(en)induktion

一つの色が感覚が空間的に隣接する色または時間的に後続する色の感覚に影響を与えること。

イロホウテイシキ 色方程式 color equation; Farb(en)gleichung
色刺激の測色の性質を数量的に表わしたものの。

インキョクゴヨクアツ 陰極後抑圧 post-cathodal depression; postkathodische Depression

陰極電気緊張の終了後に興奮性の低下すること。

インキョクセイヨクアツ 陰極性抑圧 cathodic depression; Kathodendepression

興奮性膜で比較的強い閾値下電流を与

えると、通電中陰極部で閾値が上昇する現象。

インキョクデンキキンチョウ 陰極電気緊張 catelectrotonus; Katelektrotonus

神経、筋で閾値下の通電を行なうと、陰極側で閾値が低下する現象。

インサヨウ(サイボウノ) 飲作用(細胞の) pinocytosis; Pinozytose

細胞膜が高分子物質または液を捕捉して細胞内に取り込む現象。

インシュリナーゼ insulinase; Insulinase

肝臓、腎臓、筋などに存在するインシュリン分解酵素。

インシュリン insulin; Insulin

膵臓から分泌される血糖下降作用をもつホルモン。

インスイチュウスウ 飲水中枢 drinking center; Trinkzentrum

水飲み行動を起こすインパルスを送り出す視床下部の領域。

インセイコウデンイ 陰性後電位 negative after-potential; negatives Nachpotential

神経の活動電位のうち、最初のスパイクに続く変動で、スパイクと同方向に起こる電位。

インセイザンゾウ 陰性残像 negative after-image; negatives Nachbild

もとの刺激と対照的な性質の残像。色のときの補色、光のときの暗さなど。

インセイジョウケンハンシャ 陰性条件反射 negative conditioned reflex; negativer bedingter Reflex

条件刺激によって反射活動が積極的に抑圧される現象。

インテルメジン intermedin; Intermedin

メラニン細胞刺激ホルモンに同じ。

インパルス impulse; Impuls

伝導性の興奮。通常活動電位を指標にする。
インペイコウカ 隠蔽効果 masking

(effect); Verdeckung (seffekt)
1音のきこえが他音の存在により低下すること。

ウ

ウェーバーノハウソク ウェーバーの法則 Weber's law; Webersches Gesetz
刺激の強さを R , 弁別閾を ΔR とすると, $\Delta R/R$ はほぼ一定であるという法則。

ウェーバーヒ ウェーバー比 Weber fraction, Weber ratio; Webersche Fraktion
弁別感覚の閾値がその刺激量に対する比。

ウェーバーフェヒナーノハウソク ウェーバーフェヒナーの法則 Weber-Fechner's law; Weber-Fechnersches Gesetz
精神物理関係式に同じ。

ウケイレシカン(イノ) 受け入れ弛緩(胃の) receptive relaxation(of stomach); rezeptive Relaxation(des Magens)
食物を飲み込むときに起こる胃の反射性弛緩。

ウゴキキョクセン 動き曲線 mechanogram; Mechanogramm
メカノグラムに同じ。

ウゴキジョウウキ 動き受容器 mechanoreceptor; Mechanorezeptor
圧変化によって刺激される受容器。

ウゴキノシキイ 動きの閾 mechanical threshold; mechanische Schwelle
最小刺激が観察されるのに要する刺激の強さ。

ウサイドウブツ ウサイ動物 Houssay animal; Houssaysches Tier

腺臓と下垂体前葉摘除で起こる糖尿の軽減した動物。

ウズクイタミ うずく痛み aching pain
ウチバリヒマク(ハイホウノ) 内張被膜(肺胞の) lining film; alveolare Auskleidungsmembran

肺胞内壁を覆う水およびリポ蛋白の薄膜。

ウチムキ(ノ) 内向き(の) inward, ingoing; einwärts, nach innen, eingehend

ウチムキリュウソク 内向き流束 influx; Influx, Einfluß

膜を境に内外を考えたときの内向きの一方向性流束。

ウツケツ うっ血 stagnation, congestion; Stauung
身体局所の血液の貯留。

ウツケツセイテイサンゾショウ うっ血性低酸素症 stagnant anoxia; Stauungsanoxie

血液循環障害によって起こる低酸素症。

ウツネツ うつ熱 heat accumulation; Wärmestauung

熱放散が妨げられ体に熱が蓄積すること。

ウトウトジョウタイ うとうと状態 drowsiness; Schlafsuchtigkeit

ウメコミ 埋め込み implantation; Implantation, Einbettung

ウロガストロン urogastrone; Urogastron

尿からえられ、注射すると胃液分泌。

胃運動を抑制する物質。

ウロペプシン Uropepsin; Uropepsin

胃腺より胆汁を介して尿中に排泄されるペプシンーゲン。

ウンドウ 運動 exercise, movement; Übung, Bewegung

ウンドウイジョウ 運動異常 dyskinesia; Dyskinesie

ウンドウカン 運動感 kinesthesia, sensation of movement; Kinästhesie, kinästhetische Empfindung, Bewegungsempfindung

深部感覚に基づいて体肢の位置、運動、体肢に加えられた抵抗、重量などを感ずる感覚。

ウンドウコウシン 運動高進 hyperkinesis; Hyperkinese

ウンドウザンゾウ 運動残像 kinesthetic after-image; kinästhetisches Nachbild

残像として感じられる運動感。

ウンドウシツショウ 運動失調 ataxia; Ataxie

運動の順序や筋群の協調がうまくいかない状態。

ウンドウセイ 運動性 motility; Motilität, Beweglichkeit

ウンドウセイシツゴショウ 運動性失語症 motor aphasia; motorische Aphasie

声は出せるが思い通りに言葉が話せない状態。

言語失語症に同じ。

ウンドウタンイ 運動単位 motor unit; motorische Einheit

1個の運動ニューロンとその支配する筋線維群。

神経筋単位に同じ。

ウンドウテイカ 運動低下 hypokinesis; Hypokinese

ウンドウテン 運動点 motor point; motorischer Punkt

電気刺激に対して運動神経と筋とが最もよく反応する身体表面の点。

ウンドウニューロン 運動ニューロン motoneuron; motorisches Neuron
横紋筋を支配し収縮を起こすニューロン。

ウンドウヒシツ 運動皮質 motor cortex; motorische Hirnrinde

運動野に同じ。

ウンドウフノウ(ショウ) 運動不能(症) akinesia; Akinesie

ウンドウモウ 運動毛 kinocilium; Kinozilium

運動できる繊毛。

ウンドウヤ 運動野 motor area; motorisches Feld

骨格筋へ運動の指令を送り出す大脳皮質の領域。

運動皮質に同じ。

ウンドウヨイ 運動酔い motion sickness; Kinetose

乗物の動揺によって起こる異常心身状態。

エ

エイジョハフクゴウ 鋭徐波複合 sharp and slow wave complex; Komplex aus einer steilen [scharfen] und

einer langsamen Welle

1/12~1/5秒の持続時間の波と1/2~1秒の持続時間の波の複合した脳波。

イイセンイ A線維 A fiber; A-Faser
脊椎動物体性神経系の脊髄神経線維の一種。

イイタイ A帯 A band; A-Fach,
A-Abschnitt, A-Band
横紋筋の横縞のうち暗くて複屈折性の強い部分。
不等方帯に同じ。

イイハ 鋭波 sharp wave; steile
[scharfe] Welle

1/12 ~ 1/5秒の持続時間の脳波の波。

イイヨウ 栄養 nutrition; Ernährung

イイヨウカ 栄養価 nutritive value;
Nährwert

イイヨウジュヨウリョウ 栄養需要量
nutritive requirement; Nahrungs-
bedarf

イイヨウソ 栄養素 nutritive, nutri-
ent; Nährstoff

イイヨウソク 栄養不足 under-
nutrition; Unterernährung

イイヨウフリョウ 栄養不良 dystrophia,
malnutrition, dystrophy; Dystrophie

イイカオン 腋窩温 axillar tempera-
ture; Achselhöhlentemperatur

イイセイショウセツ 液性調節 humo-
ral regulation; humorale Regulation
体液を介し、化学物質の作用によって
行なう生体機能の調節。

イイセイデンタツ 液性伝達 humoral
transmission; humorale Übertragung
化学物質の分泌を介して行なわれる興
奮の伝達。

イイタイデンキョク 液体電極 fluid
electrode; Flüssigkeitselektrode

試料と電極とが直接接触せず、電解液
を介するように工夫された電極。

イイクソペプチダーゼ exopeptidase;
Exopeptidase

ポリペプチドの末端のペプチド鎖を加
水分解する酵素の総称。

イイクリンセン エクリン腺 eccrine
gland; ekkrine Drüse

ヒトの体表に広く分布する汗腺。

イイヌヒ S/N 比 S/N ratio; Signal-
Rausch-Abstand

信号と雑音の比。

シグナルノイズ比ともいう。

イイディースバイク SD スパイク
SD [somatodendritic] spike;

SD-Spitze

神経細胞の複合スパイクのうち、細胞
体および樹状突起の興奮によるもの。

イイステープ ST-部 ST-segment;
ST-Segment

心電図でQRS 群の終わりからTの
初めまでの部分。

イイデンイ S電位 S potential;
S-Potential

スペチチンが発見した網膜内活動電位
の一種。

イイストラジオール estradiol; Östra-
diol

エストロゲンの一つ。主に卵巣および
胎盤から分泌される。

イイストリアル estriol; Östriol

エストロゲンの一つ。主に卵巣および
胎盤から分泌される。

イイストロゲン estrogen; Östrogen

主に卵巣、胎盤から分泌され雌の第二
次性徴、発情を促すホルモン。

発情ホルモン、卵胞ホルモンに同じ。

イイストロン estrone; Östron

卵巣および胎盤から分泌されるエスト
ロゲンの一つ。

イイクスセンシヨクタイ X染色体

X chromosome; X-Chromosom

大型の性染色体。多くの動物ではXX
で雌。

イイチタイ H 帯 H band; H-Zone

横紋筋のA帯の中央部にある明るい部
分。